

JRCだより

(青少年赤十字 Junior Red Cross)



文責：JRC担当 江口

上海紅十字会友好交流事業に行ってきました

7月24日(月)～28日(金)に中国の上海市紅十字会のメンバーの方との交流事業に清水中学校から3年生が2名参加しました。生徒達は上海のメンバーと交流したり、観光をしたりしました。

言葉の壁はあったけど、「伝えたい！」と言う気持ちでたくさん会話ができた。

成功、失敗をくり返し、多くのことを学び、それを世界のために役立たせたい。

失敗にも意味があると思った。

何事にも挑戦してみようと思った。

失敗や成功を重ねないと分からない特別な経験が挑戦であることを知った。



友達や引率の先生にも知っている人はおらず、言葉も違う環境で過ごした5日間は大きな不安もあったと思いますが、元気に帰って来た2名は、充実した生活を送ることができたようです。

青少年赤十字について知ろう⑤

赤十字の父 ～アンリ・デュナン～

「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。」

人間同士としてその尊い生命は救われなければならない。」

スイス人のアンリ・デュナンは、戦争中に放置されていた負傷者の救護活動で目の当たりにした悲惨な現状を語り伝えるために出版した本の中で以下のことを訴えました。

- ・戦場の負傷した兵士を敵味方の別なく救護するために、各国で救護団体を平時から組織しておくこと。
- ・その団体が戦場で安全に活動できるように国際的な取り決めを結ぶこと。



この訴えにヨーロッパの各地で賛同の声が上がり、実現させるために1863年に「五人委員会」が設立されました。この「五人委員会」が現在の赤十字の前身です。

□■□お知らせ□■□

☆プルタブ・ペットボトルキャップの回収にご協力をお願いします！

もうすぐ学校が始まります。夏休みの間にたまったプルタブやペットボトルキャップはありませんか？少量でも構いませんのでご協力いただけると幸いに存じます。なお、キャップは飲料用のペットボトルのもののみが対象となります。調味料等のキャップは回収できませんので、よろしくお願いします。